

長崎県の実践について



「アジア・国際戦略」について

長崎県の優位性

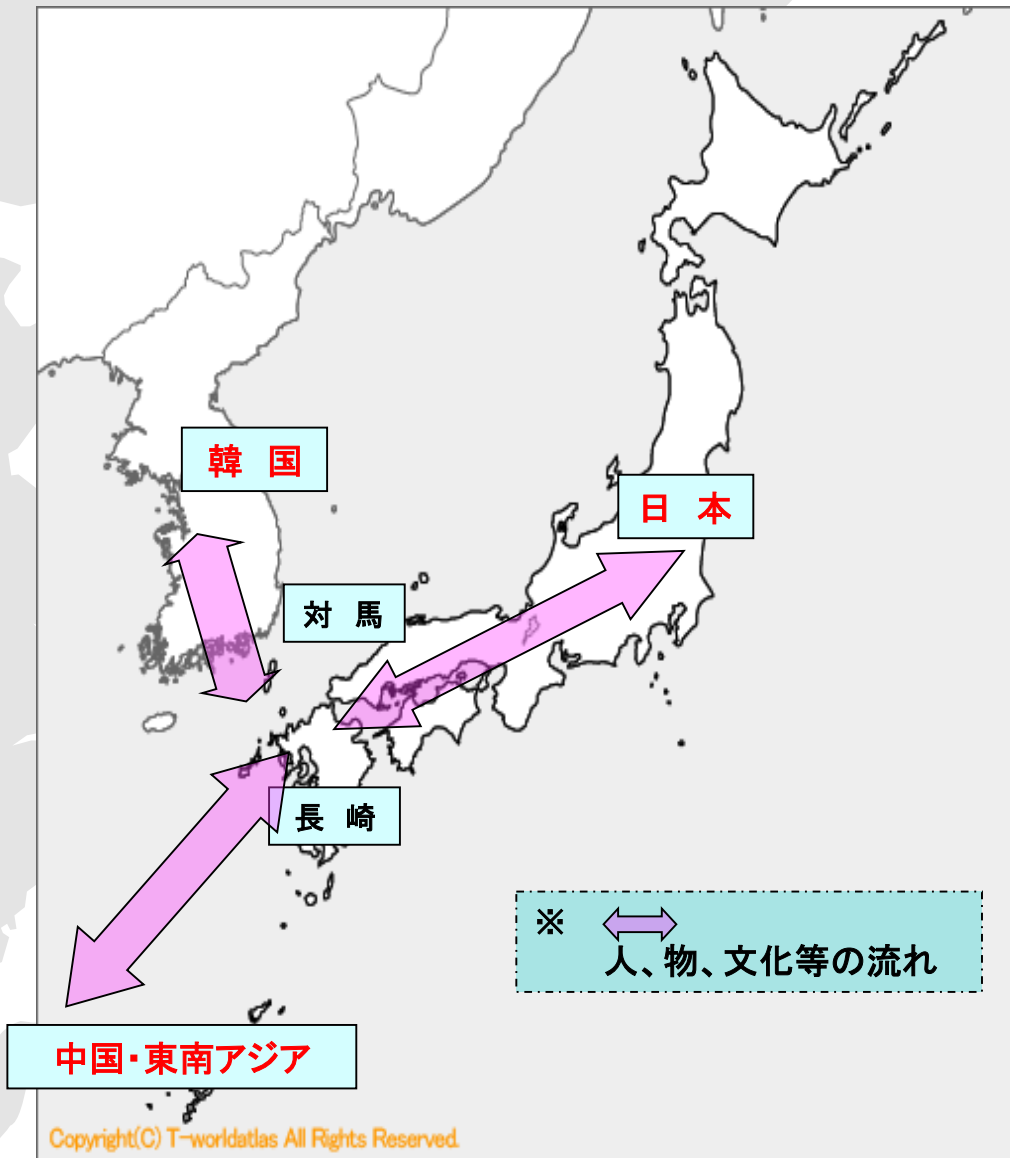
- アジアとの近接性
- アジアとの歴史的つながり



これらの優位性を活かして、

韓国などのアジアの国々を中心とした海外の活力を取り込み、

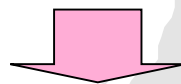
本県の経済の活性化を図る。



「青少年育成・交流」について①

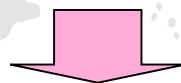
【背景】 グローバル化した現代社会

国際的な青少年育成・交流



- ・ **国際的な感覚**の育成
- ・ **国際理解**の促進

につながる。



今後の日韓交流の促進にとって、**大きな原動力**に！

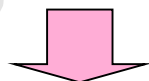
アジア・国際戦略における取組テーマ

「国際人材の活用・育成」

外国人留学生など海外人材の育成

【背景】本県への留学生数: **約1,650人**
(うち韓国人留学生10%、中国人留学生80%)

- **長崎サミット**(長崎都市経営戦略推進会議)
(長崎県、長崎市、長崎大学、及び商工会議所などの経済4団体のトップで構成)
→ **地域活性化に向け、産学官一体となった取組を推進**



- **留学生を3千人まで増加させる**
- **留学生の受入から就職支援までを総合的に支援する組織の構築**
- **優秀な海外の人材を活用し、県内産業の活性化につなげる**

国際社会で活躍できる高校生・大学生の育成①

離島留学制度： 県内の「島」(五島、壱岐、対馬)にある高校で、**島独自の文化や自然**の中で、**特色のある教育**を受けることが可能

■対馬高校(対馬は、韓国との交流が盛ん)―【国際文化交流コース】

- ・専門的な**韓国語**学習、韓国への修学旅行、韓国料理体験、ホームステイの実施等
- ・**韓国の大学**への進学も可能
(釜慶大、韓国海洋大、東亜大、釜山外国語大 への学校推薦)

■壱岐高校(古くから東アジアとの交流拠点)―【東アジア歴史・中国語コース】

- ・交流の歴史や**中国語**について学習
- ・**中国の大学**への進学も可能

■長崎県立大学シーボルト校における取組み

○海外語学研修派遣

海外の7大学へ研修派遣を実施

うち、韓国の大学2校 (高麗大学校、東亜大学校)

○交換留学

海外の4大学と交換留学を実施

うち、韓国の大学2校 (高麗大学校、東亜大学校)

国際社会で活躍できる高校生・大学生の育成②

修学旅行の状況

【長崎県から韓国へ】： 3校（予定、高校のみ） —2011年度

【韓国から長崎県へ】： 61校（小・中・高・大学校） —2010年度

長崎市空手連盟と韓国テコンドー団の交流

- 目 的： 空手道とテコンドーとの交流を通して、それぞれの長所を勉強し、更なる技術・精神力の向上を目指すとともに、日韓両国の青少年の親善を深める。
- 交流実績： 2010年度は、約360人が来県
（2006年の交流開始以降、2010年までに1205人が来県）

※ 長崎県観光連盟が仲介

国際社会で活躍できる高校生・大学生の育成③

姉妹都市交流等における青少年交流の取組

雲仙市と全南・求礼郡

- 雲仙市内の中学生が、求礼郡を訪問し、求礼郡の中学生と交流
（内容）学校の紹介、茶道体験、陶芸体験 等

波佐見町と全南・康津郡

- 波佐見高校と康津郡内の高校 が隔年で相互訪問し、サッカー交流を実施

佐世保市と京畿・坡州市

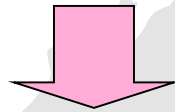
- 佐世保市内の中学生と、坡州市内の中学生が毎年、相互訪問し、ホームステイを実施

長崎県美術館と釜山市立美術館

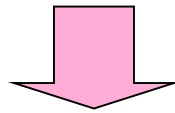
- 長崎県美術館と対馬高校、釜山市立美術館をテレビ会議システムで結んで、美術館展示品にかかる遠隔授業を実施。
（釜山情報観光高校の生徒が、釜山市立美術館において参加）

青少年育成・交流のまとめ

次代を担う青少年たちに
国際的な交流の機会を提供



- 青少年にとっても自己の成長につながる
- 平和的・友好的な国際関係の構築



積極的に青少年育成・交流を推進

長崎と韓国との間の航路の拡充について

■対馬～釜山航路

○これまで

大亜高速海運 1社のみ(定期運航:1991年～、1日1往復)
【厳原 ←釜山 又は 比田勝 ←釜山】

○新規参入

JR九州高速船(2011年10月就航、1日1～2往復)
【比田勝 ↔釜山】

未来高速(2011年11月就航、1日1往復)
【厳原 ↔釜山】

■佐世保～釜山航路の開設計画

- 今年11月 佐世保港が「日本側拠点港」に選定
- 2014年の佐世保～釜山航路の開設を目指す。



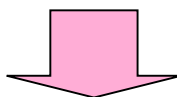
大亜高速海運



JR九州高速船



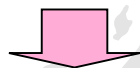
未来高速



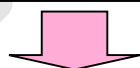
新規航路の開設等により、韓国とのゲートウェイが強化され、今後、さらなる交流人口の拡大が期待される。

「対馬歴史海道博物館」(仮称)の建設について

対馬は古くから韓国との交流が盛ん。
韓国との交流を物語る史跡、文物などが数多く残されている。
(対馬宗家文書、万松院等朝鮮通信使ゆかりの史跡 等)



これらの史跡、文物等を活用し、
日韓交流の歴史、文化を後世に伝えていくことは重要



対馬歴史海道博物館(仮称)の建設を推進

学習・研究施設の拠点としてだけでなく
○日韓ネットワークの交流拠点
○国内外に発信する観光拠点
としての機能も

「第5回ジオパーク国際ユネスコ会議」の長崎県開催について

- 期間: 2012年5月12日(土)～5月15日(火)
- 場所: 島原半島ジオパーク(島原市、雲仙市、南島原市)
- テーマ: 「大地の遺産とそれらの持続可能な発展」
- 主催: 島原半島ジオパーク推進連絡協議会、
世界ジオパークネットワーク(GGN)

日本国内では、初めての開催となる。

※島原半島ジオパークは、2009年に
世界ジオパークネットワークが認定





ご清聴ありがとうございました